

第1回定例会概要

平成28年第1回定例会は、2月29日から3月16日までの会期17日間で行われました。議会初日に行政報告として平成28年度市政執行方針及び平成28年度教育行政執行方針が示され、続いて市長提出20議案および平成27年度一般・特別会計・水道事業会計補正予算7議案、平成28年度一般・特別会計・水道事業会計予算8議案の全35議案が上程され、審査の結果いずれも原案のとおり可決されました。

- * 総務文教常任委員会に付託した議案(詳しくは4～6ページ)
- * 産業民生常任委員会に付託した議案(詳しくは6ページ)
- * 予算決算常任委員会に付託した議案(詳しくは1・2、7～9ページ)

■平成27年度一般会計補正予算

平成27年度歳入歳出予算の総額からそれぞれ**4億2,584万7千円**減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ**179億4,917万7千円**とするもので、補正の主な事業概要は下記のとおりです。

事業名	予算増減額	事業概要
西いぶり広域連合負担金	4,120万4千円	ホタテ貝養殖における水産雑物の大量発生による処理費用の増額。
ネットワーク等強靱化事業	7,244万3千円	新たな自治体情報セキュリティ対策。
自立支援給付費	9,500万円	サービス利用者の増加に伴う扶助費の増額。
障害児通所給付費	500万円	新規利用者の増加による扶助費の増額。
年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業	1億7,100万円	消費税率の引上げに伴う低所得高齢者の負担緩和を目的とした給付措置。
年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事務費	1,462万2千円	給付金給付事務に伴う事務費。
道営有珠山麓地区畑地帯総合整備事業負担金	1,287万9千円	道営事業における用排水路及び農道整備に係る経費の一部負担分。
水産雑物処理事業補助金	708万3千円	水産雑物の処理費用増大に伴う事業実施主体への一部補助。
西通り線及び旭ヶ岡線道路整備事業	△1億4,475万3千円	社会資本整備総合交付金の減額による減額補正。
橋梁長寿命化修繕事業	△761万円	
竹原通外1街路整備事業	△2億446万3千円	

■平成27年度特別会計補正予算

- 平成27年度 国民健康保険特別会計補正予算……………1,808万1千円(減額補正)
- 平成27年度 下水道特別会計補正予算……………9,415万円(減額補正)
- 平成27年度 介護保険特別会計補正予算……………13万1千円(減額補正)
- 平成27年度 霊園特別会計補正予算……………72万9千円(減額補正)
- 平成27年度 簡易水道特別会計補正予算……………12万2千円(減額補正)
- 平成27年度 水道事業会計補正予算

収益的収入及び支出については

収入の……………5,559万6千円(増額補正)
 支出の……………2,656万5千円(減額補正)

資本的収入及び支出については

収入の……………281万2千円(減額補正)
 支出の……………1,837万5千円(減額補正)

※上記特別会計補正予算は、主に年度末事業確定による減額補正です。

■意見書

今定例会に提出依頼があった意見書は7件で、審査の結果、以下のとおり意見書5件が、国の関係機関へ提出することになりました。各意見書の内容については伊達市議会ホームページをご参照ください。

結果	件名	提出依頼者	新政クラブ	会派創生	市民クラブ	公明党	青雲
×	安法法制廃止、立憲主義回復を求める意見書	日本共産党 伊達市委員会	×	×	×	×	○
×	2017年4月の消費税10%への増税中止を求める意見書		×	×	×	×	×
○	貸切バス事業への「規制緩和」見直しと運転手の労働条件改善を求める意見書		×	○	○	○	○
○	「介護報酬の再改定」を求める意見書		○	○	○	○	○
○	TPPの影響に関する国民の不安を払拭し、対策の確実な実行を求める意見書	公明党 伊達支部	○	○	○	○	×
○	児童虐待防止対策の抜本強化を求める意見書		○	○	○	○	○
○	地方公会計の整備促進に係る意見書		○	○	○	○	○

【解説】

各団体から提出された意見書は会派ごとに審査を行い、定例会中に議会運営委員会を開催して協議し、3分の2以上の会派の同意により意見書案として定例会に提出するかどうかを判断します。

定例会に提出された意見書案が過半数の賛成により議決されると伊達市議会の機関意志として国の各機関に意見書を提出することになります。よって、どこの政党や団体から出されようと議決された意見書は伊達市議会の意思ということになります。

提出先の国の機関とは、内閣総理大臣、衆参議院議長や各担当大臣など、かかるテーマに合わせて提出者の意志が反映されます。

